

## 古川嘉勇さんのご逝去を悼む

原島真二

トウキョウサンショウウオ研究会では狭山丘陵の担当をなさっておられた古川嘉勇さんが、2022年9月15日に逝去された。68歳でした。

古川燃料店を営む傍ら、狭山丘陵のトウキョウサンショウウオの保全に取り組んでおられた。減少しつつある狭山丘陵のトウキョウサンショウウオの保全のために、卵を自宅で飼い上陸してから元の場所に戻す取り組みを続けておられた。サンショウウオへの関心・愛着を持ち続けた生涯であった。

長らく急性骨髄性白血病の療養をなさっておられたが、病状をお聞かせいただいたのは1年半ほど前。ご逝去後、奥様にサンショウウオに関する資料の借用をお願いしたのだが、病気を知ったあとの身辺整理の中で廃棄されたようで、全くというくらい残されていなかった由、終活のお手本であるのかもしれない。



2019年4月14日撮影

### ○古川<sup>よしお</sup>嘉勇さん略歴

- ・ 生年月日：1954年（昭和29）年2月1日
- ・ 住所：190-1211 西多摩郡瑞穂町石畑 200-12
- ・ 1960（昭和35）年4月 瑞穂町立瑞穂第一小学校入学
- ・ 1966（昭和41）年4月 瑞穂町立瑞穂中学校入学
- ・ 1969（昭和44）年4月 東京都立多摩高等学校入学 生物クラブで活躍
- ・ 1973（昭和48）年明星大学入学

※右の写真は、18歳頃に撮影されたもの（ご家族ご提供）



### ○「トウキョウサンショウウオ 生活の神秘をさぐる」（金井郁夫、1974年）に掲載された古川さん

- ・ 136ページ トウキョウサンショウウオ  
「青梅市で忘れてならないのが、東京都立多摩高等学校の生物クラブです。主となってサンショウウオの調査をしていたのが、古川嘉勇君です。」…
- ・ 196ページ ヒダサンショウウオ  
「…昭和45年の7月、青梅市にある東京都立多摩高等学校の生物クラブ員の古川嘉勇君がたずねてきました。前記のトウキョウサンショウウオを中心に、ヒダサンショウウオ、モリアオガエルの生息地も調べていました。」…

### ○調査をとおして知った狭山丘陵の魅力

- ・ 金堀沢：ニリンソウ群落、ヤマルリソウ、ハンミョウ、スギカミキリ、露頭（地質）など
- ・ 大沢：狭山丘陵のグランドキャニオン、イモリ、ミツバツツジなど